

2021 年 9 月 10 日

キーワード： 人材育成、人材評価、バイオ医薬品、細胞培養、リカレント教育

理系人材の評価育成法の開発を目的に協働研究所を開設 ーバイオ医薬生産人材育成を目指してー

【ポイント】

- ◆ 大阪大学とパーソルテンプスタッフ株式会社は、理系人材の評価育成を目的とした文理融合型の「パーソル高度バイオ DX 産業人材育成協働研究所」を 2021 年 9 月 1 日に開設
- ◆ 大阪大学では初めての文理融合型の協働研究所
- ◆ 国際指標に基づき研究開発分野の人材評価に有効かつ実践的なプログラムを作成し、職能分析とキャリアの可視化による評価法を構築
- ◆ 理系人材の評価と育成を実際の現場で実施することで可能に
- ◆ 抗体医薬、遺伝子治療用医薬、ワクチンなど、バイオ医薬品の生産を支える人材育成への応用に期待

❖ 概要

大阪大学とパーソルテンプスタッフ株式会社は、理系人材の評価育成を目的とした文理融合型の「パーソル高度バイオ DX 産業人材育成協働研究所」を 2021 年 9 月 1 日に開設しました。これまで研究開発の分野においては、学修履歴および成果によって人材が評価されていました。他方研究開発上の役割の細分化により、派遣人材の活用が進み多様なキャリアを持つ人材が求められるようになりました。今回、高度研究人材を輩出してきた大阪大学と、研究開発人材の多様化に取り組んできたパーソルテンプスタッフが協働して、国際指標に基づいて研究開発分野の人材評価に有効かつ実践的なプログラムを作成し、職能分析とキャリアの可視化による評価法を構築します。

この分析データに基づいたトレーニングにより、高度人材教育の合理的手法を開発し、キャリアの創造とイノベーションを推進することを目的としています。

今回設立する協働研究所では、大阪大学大学院工学研究科の大政健史教授らの研究グループと協力することで、成長分野であるバイオ医薬品（抗体医薬、遺伝子治療用医薬、ワクチン等）の製造を支えるものづくりのバイオテクノロジーを推進する「バイオ DX 産業人材」の育成を目指します。これにより、バイオ医薬品製造分野のみならず、バイオテクノロジーによるものづくり分野における我が国の高度人材育成と、バイオものづくり産業振興が期待されます。

❖ 協働研究所開設の背景

これまで、人材の評価育成は、我が国においては、修了した専門分野などの学修履歴や、論文等の成果に基づいて主に評価されていました。一方、多様な学びの場を有する欧州等では、学修及び学歴を基準とする評価指標ではなく、人材を知識、スキル、職能（コンピテンス）の指標に沿って評価していました。

パーソルテンプスタッフ株式会社では、これからの多様な人材が活躍する社会の実現に向けて、人材の評価育成法の開発は課題だと認識しており、本協働研究所の設立に至りました。

本協働研究所では、人材のリカレント教育も視野にいて、成長著しいバイオ医薬品製造分野の DX（デジタルトランスフォーメーション）を可能とする人材育成を対象として、実際の研究現場での共同研究を通じて、研究職の職能分析とキャリアの可視化を目指します。

❖ 社会に与える影響（研究所開設の意義）

本協働研究所の取り組みにより、人材不足が著しいバイオ医薬品製造の分野において、高度なバイオ DX 産業人材育成が期待されます。これによって、キャリアの創造とイノベーションが推進され、我が国におけるバイオテクノロジー分野の発展に貢献できます。